

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	火災出動中におけるはしご車の物損事故。
3. 体験した事例の中心的要素	中高層建物火災出動指令を受けはしご車で出動時に、交差点を左折した際に歩道のガードレールへ接触し、はしご車左前方ジャッキカバー、サイドステップ、後輪タイヤハウス、後方ジャッキカバーの一部を損傷したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	救助訓練中の出動指令で、現場が近いこともあって、気持ちが焦っていたと思います。また、交差点内で一旦停止したことにより、更に気持ちが焦り左後方の確認がおろそかになったため、ハンドルを切るタイミングが早くなってしまった。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

.....

1. 発生日時	平成 19 年 6 月 19 日 午後 3 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：交差点内
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	火災、出動途上 [その他：出動途上]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：出動途上
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[32]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[13] 年、階級[消防副士長]、同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[34]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[15]年、階級[消防士長]、同様の活動 [頻繁]、 任務 [車長]
○当事者 C	年齢[36]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長]、同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	交差点を左折する際にはしご車の左側をガードレールに接触させた。	
経過 2	当事者 B	前方、後方を確認し接触に気づき危ないと叫ぶ。	
経過 3	当事者 C	前方、後方を確認し接触に気づき危ないと叫ぶ。	
経過 4			
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

指揮者が適切に指示した。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

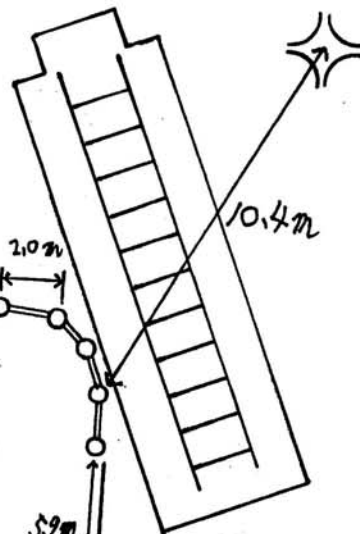
○指揮・情報伝達の対策について

事故現場詳細図



県道
(線) 線

山手幹線



2.0m

10.4m

5.9m

信号柱

歩道

歩道

3.7m

6.5m

11.5m